

バルタリマヌ日本庭園改修記念式典の開催 (2015年11月14日 於:バルタリマヌ日本庭園)

11月14日、イスタンブール市内のバルタリマヌ日本庭園において、安倍総理大臣のご臨席の下、「バルタリマヌ日本庭園改修記念式典」が盛大に開催されました。

素晴らしい秋晴れに恵まれたこの日の式典には、トプバシュ・イスタンブール市長、中尾下関市長、また、庭園が設立された当時下関市長であった江島国交大臣政務官、更に、庭園の改修のため設立された「バルタリマヌ日本庭園改修実行委員会」の日本企業14社の代表の方々をはじめ、多くの両国関係者が参加しました。

江原総領事の開会の辞に始まり、バルタリマヌ日本庭園改修実行委員会を代表して山内大成建設取締役会長から挨拶があった後、式典の共催者であるイスタンブール市のトプバシュ市長の挨拶に続いて、安倍総理からご挨拶を頂きました。



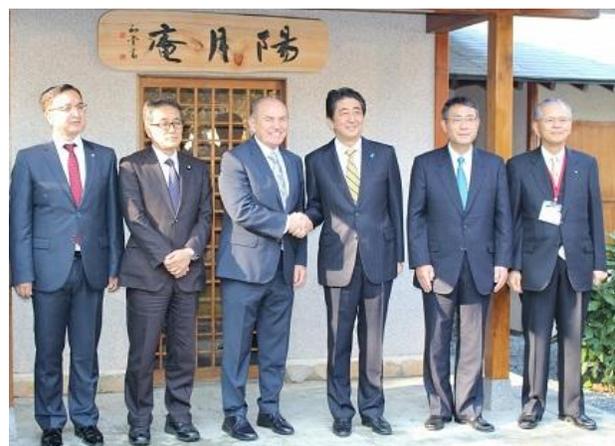
挨拶をされる安倍総理

安倍総理は、ご挨拶の中で、「日本は人と人との交流を大事にして、相互理解を深める国です。このバルタリマヌ日本庭園も、両国の友好関係を末永く発展させていくための財産として、イスタンブールの皆様が多く訪れる場所であり続けることを願っています」等述べました。

続いて、改修された茶室が今般、「陽月庵」と命名され、その看板の序幕式が行われました。陽月庵は、両国の国旗に象徴される太陽(日本)と月(トルコ)を踏まえて、両国の末永い友好を願って名づけられたものです。



陽月庵の看板除幕式



左から、ビルギン・サルエル郡長、江島国交大臣政務官、トプバシュ市長、安倍総理、中尾下関市長、山内大成建設会長(バルタリマヌ日本庭園改修実行委員会を代表して)

その後、安倍総理と関係者の記念撮影、茶室の見学が行われました。茶室見学の後、総理は、式典参加者らと、美しく整備された日本庭園を視察しました。



庭園内を視察される安倍総理と式典参加者

今回のバルタリマヌ日本庭園の改修は、イスタンブール市から下関市への改修協力の要請を受けて、日本側で有志企業による「バルタリマヌ日本庭園改修実行委員会」が発足し、下関市造園クラブの関係者の方々がイスタンブールを訪れ、イスタンブール市の庭園関係者とともに、石畳の張り替え、樹木の植栽、芝生の全面張り替え、庭園周りの垣根の整備などを行ったものです。また、今回、茶室内部も美しく生まれ変わりました。



改修後の庭園の様子



茶室の床の間

式典終了後、開園を待ちわびていた多くのイスタンブール市民が庭園を訪れていました。バルタリマヌ日本庭園は、年中無休（開園時間 7:00～17:00）、入場は無料です（庭園の管理・運営はイスタンブール市庭園局）。多くの方々のご来園をお待ちしています。